

付録 1

Supplementary Table 1
調査 1 で使用した項目の平均値と標準偏差

教示と項目	<i>M</i>	<i>SD</i>
パート 1 (教示)		
あなたのパーソナリティや個人的な好みについておたずねします。以下の項目にどのくらい同意するか、当てはまるものを選択してください。		
1. 赤ちゃんを見ると、抱っこしたくなる	3.15	1.11
2. 子どもはうっとうしいと思う* (R)	2.39	1.04
3. 幼い子どもが泣いていても、特に関心がない* (R)	2.40	0.90
4. 赤ちゃんは私の心を和ませる	3.70	1.01
5. 子どもに危害を加えようとする人には、罰を与えずにはいられないだろう	3.54	0.93
6. 子どもにとって脅威となる人には、危害を加えるだろう	2.90	0.98
7. たとえ他人に危害を加えることになっても、子どもを守るためにはどんな手段も使うだろう	3.10	0.96
8. 子どもにとって危険な人には、情けをかけないだろう	3.50	0.95
9. いつもぐずっている子どもの様子には我慢できない* (R)	2.90	0.98
10. 子どもを危険にさらす人がいても、見て見ぬふりをするだろう* (R)	2.15	0.89
11. 幼い子どもががんばって玩具に手をのばしているのを見ると、取ってあげたくなる*	3.44	0.95
12. 子どもに悪影響を及ぼす人がいても、介入しないだろう* (R)	2.39	0.83
パート 2 (教示)		
「やさしい気持ち」とは、「思いやりと愛情に満ちた温かく穏やかな気持ち」のことを指します。以下に、この気持ちを引き起こす可能性のあるさまざまな状況を示します。以下の状況で、あなたがどのくらい「やさしい気持ち」を感じるかを選択してください。自信がないときは、直感でお答えください。		
13. 幼い子どもがつまずいてころんで、泣き出す声が聞こえるとき	3.44	1.03
14. あなたがおかしな顔をして赤ちゃんを何度も笑わせているとき	3.92	0.93
15. 赤ちゃんが病気だと分かったとき	3.62	1.09
16. お腹を空かせた赤ちゃんの泣き声を聞くとき*	3.32	1.07
17. 生まれたばかりの赤ちゃんが、あなたの指をきゅっと握るとき*	4.15	0.96
18. 子どもが初めての場所で不安そうにしているのを見るととき*	3.60	1.02

注) オリジナルの PCAT-pn 尺度 10 項目 (パート 1: 6 項目, パート 2: 4 項目) から、内容を一義的に理解しにくいパート 2 の 1 項目 (「初めてひとりで歩いた幼児が、そっと後ろに倒れてしまうのを見るととき」) を削除し、新たに 9 項目 (パート 1 に 6 項目, パート 2 に 3 項目) を追加して、計 18 項目で実施した。R は逆転項目, *は新たに追加した項目。

Supplementary Table 2
調査 2 で使用した道徳判断のシナリオと項目

ホームパーティーのシナリオ

あなたは大樹くん（2 歳）[大樹さん（28 歳）]を自宅に招待しました。チャイムが鳴ってあなたが玄関ドアを開けると、大樹くんは泥のついた靴を履いたまま、家の中に入ってきました。

ピクニックのシナリオ

あなたは翔太くん（2 歳）[翔太さん（28 歳）]と公園でピクニックをしています。お弁当を食べているとき、翔太くんは大きなくしゃみをし、みんなのお弁当につばがかかりました。

教示と回答方法

この状況で〇〇さん（くん）のしたことは、
7 件法（1 = まったくあてはならない，7 = よくあてはまる）
道徳的に間違っている
不適切である
気分を害させる
罰に値する

この状況にあなたはどう反応すると思いますか。

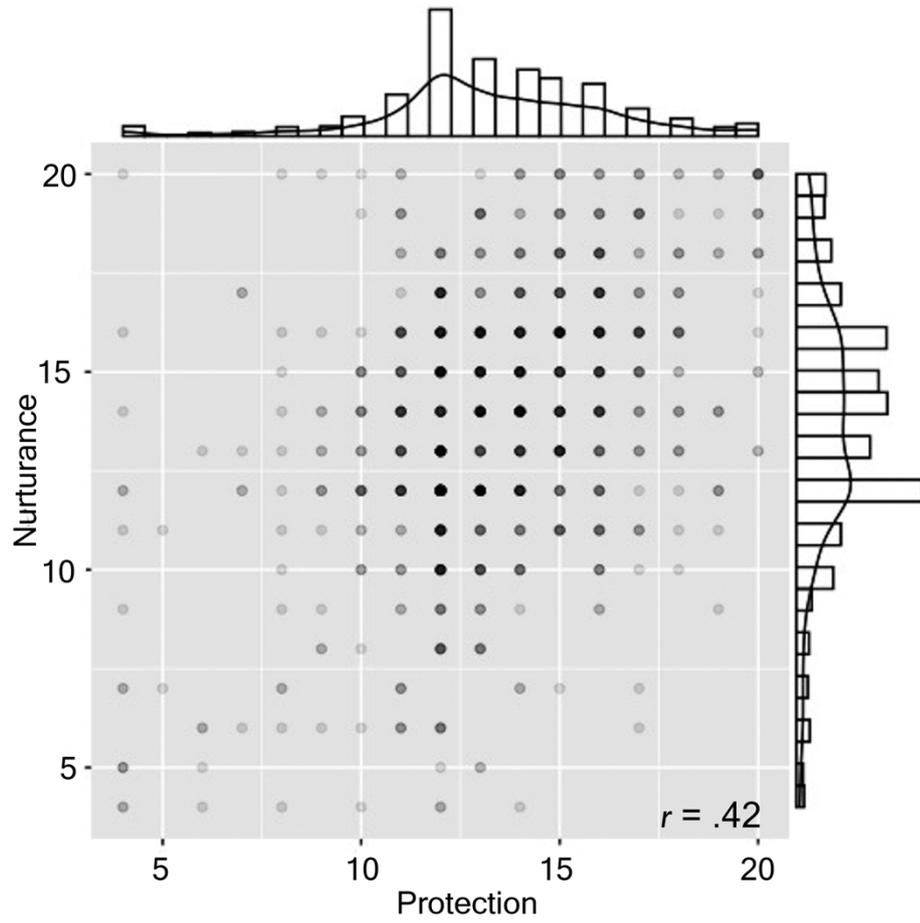
7 件法（1 = 強く反対，7 = 強く賛成）
〇〇さん（くん）にはできるだけ近づかないようにするだろう
〇〇さん（くん）を許してあげるだろう（R）
〇〇さん（くん）が何をしたかに関係なく、大樹くんとは友好的な関係でいたいと思うだろう（R）
〇〇さん（くん）にやさしく接するのは難しいと思うだろう

注）（R）は逆転項目。逸脱者が子どもと大人のバージョン，名前が大樹くん（さん）もしくは翔太くん（さん）のシナリオ（全 8 条件）をランダムに呈示した。

付録 3

Supplementary Figure 1

養育得点と保護得点の散布図とヒストグラム（調査 2）



注) $N = 774$ 。

付録 4

Supplementary Table 3
JPCM 尺度における男女間と子あり・なし間の測定不変性 (研究 2)

Parameter	Model fit indices						Indices of model fit differences		Pass?
	χ^2	<i>df</i>	CFI	TLI	SRMR	RMSEA [90% CI]	$\Delta\chi^2$ (<i>p</i>)	Δ CFI	
Gender									
Null Model	2197.936	56	-	-	-	-	-	-	-
Configural	122.882	38	.960	.942	.051	.054 [.043, .065]	-	-	-
Metric	148.193	46	.952	.942	.058	.054 [.044, .064]	25.311 (.001)	.008	Yes
Scalar	171.171	54	.945	.943	.059	.053 [.044, .062]	22.978 (.003)	.007	Yes
Var and Covar	177.075	63	.947	.953	.062	.049 [.040, .057]	5.904 (.551)	.002	Yes
Means	175.961	61	.946	.951	.062	.050 [.041, .058]	1.114 (.673)	.001	Yes
Parent/Non-Parent									
Null Model	2004.299	56	-	-	-	-	-	-	-
Configural	164.886	38	.939	.926	.053	.058 [.048, .068]	-	-	-
Metric	189.345	46	.931	.928	.076	.057 [.048, .066]	24.459 (.002)	.008	Yes
Scalar	307.318	54	.874	.886	.103	.072 [.064, .080]	117.973 (<.001)	.057	No

注) $N = 774$ 。

Null Model = 独立モデル

Configural = 配置不変性

Metric (weak) = メトリック不変性

Scalar (strong) = スカラー不変性

Var and Covar (homogeneity of variances and covariances) = 分散と共分散の等価性

Means (homogeneity of means) = 平均値の等価性

Supplementary Table 4
JPCM 尺度の総得点と調査変数との偏相関（調査 2）

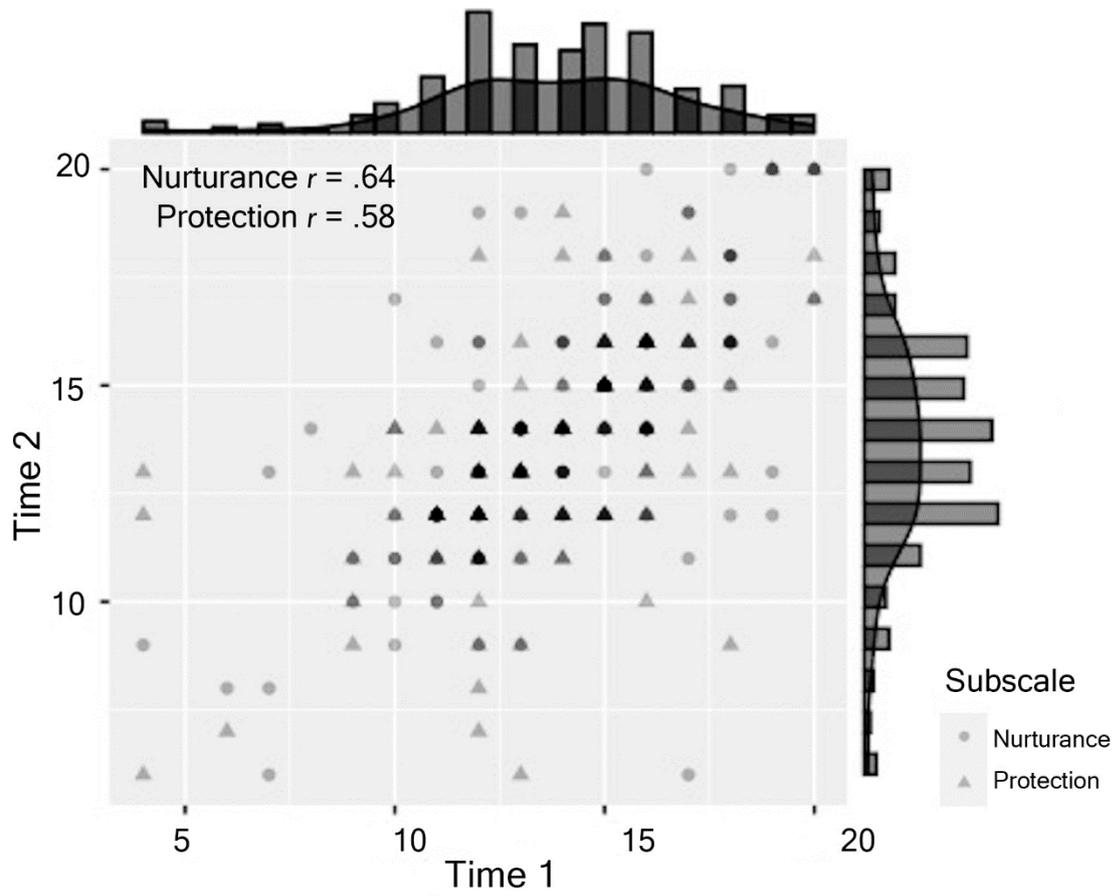
	<i>r</i>	partial <i>r</i>
子どもに対する態度		
子育て願望	.49 (< .001) [.436, .543]	.45 (< .001) [.393, .506]
子育てへの関与	.35 (< .001) [.286, .409]	.24 (< .001) [.174, .307]
しつけへの関与	.35 (< .001) [.284, .408]	.25 (< .001) [.186, .318]
モラル判断		
子どもが逸脱者	-.25 (< .001) [-.318, -.186]	-.22 (< .001) [-.282, -.147]
大人が逸脱者	-.03 (.376) [-.102, .039]	-.02 (.660) [-.086, .055]
TIPI-10		
外向性	.23 (< .001) [.161, .294]	.20 (< .001) [.130, .266]
協調性	.24 (< .001) [.176, .309]	.24 (< .001) [.171, .304]
勤勉性	.15 (< .001) [.080, .218]	.13 (< .001) [.061, .200]
神経症傾向	-.09 (.015) [-.157, -.017]	-.07 (.058) [-.138, .002]
開放性	.14 (< .001) [.069, .207]	.16 (< .001) [.086, .223]
BIS/BAS		
BIS（行動抑制系）	-.03 (.364) [-.103, .038]	-.01 (.711) [-.084, .057]
BAS（行動賦活系）	.29 (< .001) [.229, .358]	.28 (< .001) [.212, .342]
D（駆動）	.24 (< .001) [.169, .302]	.23 (< .001) [.164, .298]
RR（報酬反応性）	.30 (< .001) [.236, .364]	.29 (< .001) [.229, .358]
FS（刺激探求）	.18 (< .001) [.110, .247]	.15 (< .001) [.077, .215]
共感性		
共感的関心	.36 (< .001) [.293, .416]	.37 (< .001) [.311, .432]
個人的苦悩	-.14 (< .001) [-.203, -.065]	-.13 (< .001) [-.197, -.058]
子どもへの関心		
好意的注目	.62 (< .001) [.569, .657]	.57 (< .001) [.524, .619]
同情	.58 (< .001) [.527, .621]	.55 (< .001) [.497, .596]
好奇心	.46 (< .001) [.406, .517]	.42 (< .001) [.356, .473]
寛容度	.41 (< .001) [.345, .463]	.38 (< .001) [.313, .434]

注) $N = 774$. Partial $r =$ 年齢, 性別と子の有無を統制した偏相関係数。() 内に p 値, [] 内に 95%信頼区間を示す。

付録 6

Supplementary Figure 2

2 時点における養育得点と保護得点の散布図とヒストグラム (調査 2)



注) $N = 129$ 。